

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
利尻地域	利尻町・利尻富士町	平成 24 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日	平成 24～28 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績 B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	家庭系 総排出量	2,193t	1,882t	2,116t	112.4%
	1 人当たりの排出量	410kg/人	381kg/人	455kg/人	119.4%
合 計 事業系家庭系総排出量合計		t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	33t	380t	172t	45.3%
	総資源化量	43t	481t	180t	37.4%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	1,472t	1,867t	1,275t	68.3%
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

家庭系総排出量および1人当たりの排出量が目標を達成していない要因は、資源分別を品目の追加したが完全な定着には至らなかったことやごみ分別が徹底されていないものと考えられる。  
したがって、上記により再生利用量、減量化量も目標を達成していないことがうかがえる。

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成34年度まで

- ・家庭系総排出量および1人当たりの排出量は、分別の徹底化を図るため広報活動による周知徹底や3Rの啓発に努める。
- ・再生利用量は、資源化品目の追加を再度検討し、受入、選別、保管、引取先などについても引続き検討する。また、小型家電リサイクルについて、各個人または事業者各自で行なえるよう道内での引取先や活動を紹介して排出抑制に努めていく。
- ・減量化量は、分別の徹底化を図る。
- ・目標達成のため、継続的に地域住民に対して3Rの推進を啓発し、適正処理や現有廃棄物処理施設の延命のための排出抑制、分別徹底化の必要性を周知徹底化および指導強化し、理解と協力を求める。

(都道府県知事の所見)

利尻町で昭和49年、利尻富士町で昭和56年から、粗大ごみを除き、定額制でゴミ処理が有料化されていますが、分別促進のため、排出量の抑制も期待し、制度の見直しを行うことも改善対策として有効と考えます。